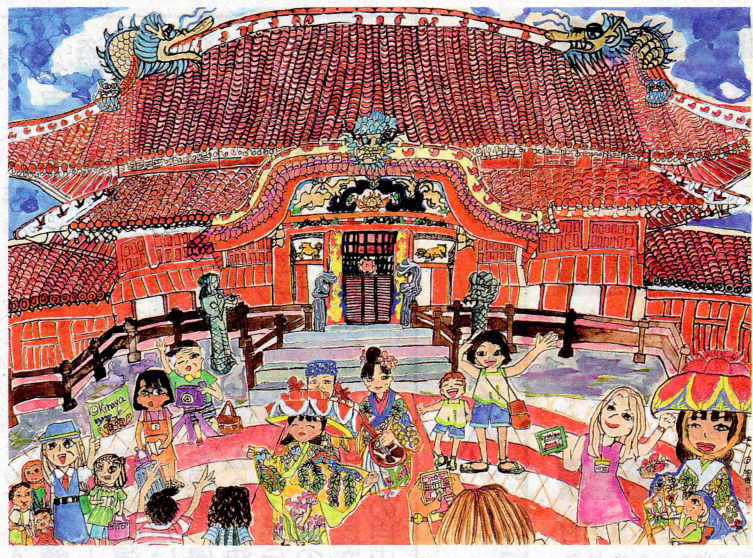


絵画や書写の創作活動を通し豊かな心を育てるMOA美術館全国児童作品展で、松山市石井東小学校6年の宗藤果鈴さん(12) 〓 同市今在家1丁目〓がこのほど、絵画の部で外務大臣賞に輝いた。2019年10月の火災で焼失する前の首里城(那覇市)を大きく描いた宗藤さんは「世界の宝なのでびっくりしたし、悲しかった。一日も早く復活してほしい」と願う。



火災が発生する前の首里城を大胆に描いた宗藤さんの作品

MOA美術館展 絵画の部

世界の宝 首里城 力強く

作品展はMOA美術館から30万4183点が(静岡県熱海市)が毎年寄せられ、70点が入賞し開き31回目。今回の絵画の部には国内外の小学生18年の春休みに家族で首里城を訪れた宗藤さんは「陽気でのんびりした沖縄の風土と、深い歴史のある首里城が大好きに

なった。空がきれいで建物の赤色が映えていた」と回想。水彩絵の具で正殿の瓦を一枚一枚緻密に描き、外国人客らも表情豊かに表現するなど、迫力があり、にぎやかな力作となっている。3年生から週1回絵画教室に通っており、作品

焼失前に訪問 宗藤さん (石井東小)

大臣賞



MOA美術館全国児童作品展の絵画の部で外務大臣賞を受賞した宗藤さん

は1学期に約2カ月かけて仕上げた。「今までで一番丁寧に描いた」と笑顔の宗藤さん。「世界から観光客が訪れてほしい。また見に行きたい」と首里城の再建を望んだ。

作品展は松山など国内外の409会場で開催し、入選以上は11日、2月12日に同美術館で展示する予定。県内ではほかに絵画の部で伊予市北山崎小2年の中谷琉希君が入選した。

(和田亮)